



社会福祉法人西野福祉会 伊波野保育園

令和6年2月29日

サクラの木に小さなつぼみが見られるようになりました。花が咲くころ、子どもたちは入学や進級を迎えていることでしょう。

さて、今年度の最終月となりました。いよいよ卒園、進級の時期です。先日、来年度入ってくるお友だちの入園前説明会がありました。初めて入る保育園に驚き涙が出る子などいて、その姿に昨年のことを思い出し今ではクラスにすっかり慣れ、保育士や友だちと笑ったり泣いたりした生活の思い出を嬉しく感じたものです。年長組は、4月からは小学生、0, 1, 2, 3, 4歳児の子どもたちも進級を迎えます。保育園では「心も体もたくましい子」「思いやりのあるやさしい子」を目標に保育を進めてまいりましたが、この一年で随所に育ちを感じる場面に接することができました。ご家庭と保育園共に子育てのすばらしさや楽しさを共有してきたからこそ、子どもたちの成長を感じることができているのではないかと思います。

今年度も保護者の皆さま、保護者会役員の皆さまにはたくさんのご理解とご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



◎お願い

◎2月26日に在園児は継続のしおりや生活状況調査票などの書類を持ち帰っていますので、確認・記入のうえ、3月4日(月)までに提出してください。

◎R6年度新たに早朝・夕方・土曜午後保育を希望される方は3月4日(月)～3月9日(金)までの間に面談をします。担任から声をかけますので必要の方は事務室までお越しください。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

◎2月28日今年度も保育園に関するアンケートを配布しました。小ホールにアンケート入れを設置していますので、無記名のうえ提出してください。

◎希望保育について

3月28日(木)29日(金)30日(土)は、おたよりでお知らせしていましたが新年度準備のため0～4歳児は希望保育となっています。希望保育にご協力いただきありがとうございます。(くま組はありません)希望保育を申し込まれた方は手作り弁当(箸、またはスプーン、フォーク)をお願いします。(お茶は園で準備します)有料延長保育はありませんので、よろしくお願いいたします。

| 日 | 曜 | 行事 | 備考 |
|-----------|---------|------------------------------|---|
| 1 | 金 | ひなまつり会 | 子どもたちの健やかな成長を願います。 |
| 2 | 土 | くま組懇談会 | 就学について気軽にお話しましょう。 |
| 5 | 火 | 役員会（19：00～） | 役員の皆さまよろしくお願ひします。 |
| 7 | 木 | お話の日 | くま組がお話のろうそくを聞きます。 |
| 8 | 金 | 交通安全教室 空弁当の日 | くま組は入学前に交通ルールを確認します。 以上児さん準備をお願いします。 |
| 11 | 月 | 避難訓練（地震） 身体測定（～12） | ご家庭でも避難について話してみましよう。 1年でどれだけ大きくなったかな？ |
| 12 | 火 | ありがとうの会 おわかれこんだて | きりん組が主になってくま組にお礼をしま す。ごちそうも特別メニューです。 |
| 14 | 木 | ジョイナス体操教室 | いろんな動作ができるようになりました。 |
| 15 | 金 | 誕生会 交通安全立哨 | 9名のお友だちがお祝いしてもらいます。 チャイルドシートを締めましよう。 |
| 19 | 火 | ジョイナス体操教室 | うさぎ組も体操教室を見学します。 |
| 23 | 土 | くま組卒園式 | 30名の子どもたちの門出をお祝ひします。 |
| 25 | 月 | くま組希望保育開始（～27） | 担任までお知らせしてもらっています。 |
| 27 | 水 | 今年度最終日 布団持ち帰り（希望保育なし） | 着替え箱など持ち帰りをお願いします。 きれいにお洗濯お願いします。 |
| 28 ～30 | 木 ～土 | 新年度準備 希望保育 布団持ち帰り（希望保育あり） | 保育希望の方は手作り弁当をお願いします。 希望保育中は有料延長保育はありません。 |
| 4/1 | 月 | 継続児通常保育開始 進級お祝い会 | 新しい生活のスタートです。 ひとつ大きくなったお祝い会です。 |
| 4/2 | 火 | 入園説明会（新入親子） | 新しいお友だちを保育園に迎えます。 |

「いいよ」も「いやよ」も子どもの大切な気持ち

子どもが、おもちゃを貸してと言われて「いや」と断ることがあります。子どもは、いつも遊んでいるおもちゃを自分のものと感じるので、これは当たり前のことです。無理に「いいよって言おうね」などと言うと、子どもは認めてもらえなかったと感じることがあります。まずは「まだ使っているんだね」などと受け入れる言葉をかけ、その後「仲よく遊ぶにはどうしたらいい？」と話してみましよう。子どもは気持ちを受け入れてもらう経験を通じて、自分と相手の気持ちに気づき、少しずつ歩み寄れるようになります。

保育園へのご意見、ご要望は遠慮なくお知らせください。

TEL 0853-72-2051

FAX 0853-72-2074

携帯 090-8062-3261

E-meil : iwano-h@tulip.ocn.ne.jp

